

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2023

1 月中旬～ 2 月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース ---
(ゆっくり歩いて1時間)
--- おてがるコース ---
(ゆっくり歩いて30分)



いきもの



ニホンアカガエル(卵)(アカガエル科)

天敵の少ない冬に産卵するカエル。田んぼや水路の中に卵がないか探してみましょう。そして、オタマジャクシになって動く様子を観察しましょう。



オオムラサキ(タテハチョウ科)

冬は幼虫の姿で、エノキの木の下で落ち葉の裏に隠れて過ごします。背中突起が4対あることで、ゴマダラチョウと見分けられます。



ゴマダラチョウ(タテハチョウ科)

成虫は、黒地に白のまだら模様が特徴的な蝶。オオムラサキと同じく、エノキの木の下で落ち葉の裏に隠れて過ごします。背中突起は3対です。



ジョウビタキ(ヒタキ科)

橙色の胸に、灰色の帽子が特徴的。平地や低山の明るい林で暮らす、もっとも身近な冬鳥の一種。



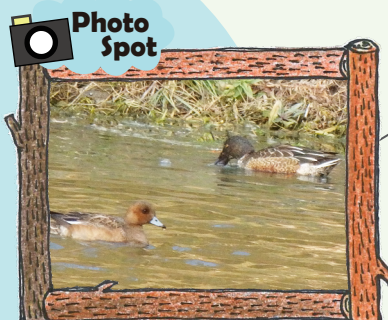
ルリビタキ(ヒタキ科)

青色が美しい冬鳥の一種。メスや若いオスは目立たない灰褐色をしています。

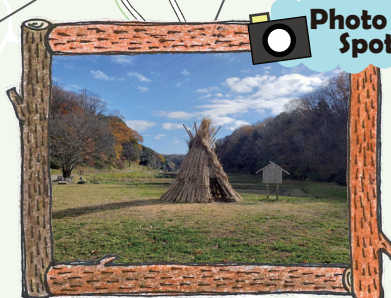


ヤマコウバシ(葉)(クスノキ科)

葉は枯れても枝に残り、落ちないので受験のお守りにもされています。



小野新池(カモなどの水鳥)



切通し東側の草地(ティピの風景)



ホトケノザ(シソ科)

春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつけました。



春の七草

田畑のあぜなどで見られます



セリ(セリ科)



オギョウハハコグサ(キク科)



ナズナ(アブラナ科)



ハコベラコハコベ(ナデシコ科)



スズナカブ(アブラナ科)



スズシロダイコン(アブラナ科)



ウメ(バラ科)

うめ林にはさまざまな品種のウメが植えられています。紅花、白花、八重咲き、一重咲き。お気に入りの木を選んでみてください。



ヤブツバキ(ツバキ科)

ツバキには様々な種類がありますが、自生のツバキといえはヤブツバキのこと。メジロが蜜を吸いにやってくることもあります。